

阿武隈中山間地域での春播きイタリアンライグラスは 秋播きより大きく減収する（飯舘村）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 阿武隈中山間地域におけるイタリアンライグラス収量向上の検討（飯舘村）

担当者 松田祐輝、平山孝

I 新技術の解説

1 要旨

阿武隈中山間地域の飯舘村では、品質や嗜好性に優れるイタリアンライグラスを栽培する畜産農家が多い。イタリアンライグラスは秋播きを基本とするが、農作業の関係により春播きを行わざるを得ない場合もある。そこで、イタリアンライグラスを秋播き及び春播きし、収量を比較したところ、春播きは秋播きより大きく減収した。

- (1) イタリアンライグラス「ガルフ」を秋播きは2023年10月、春播きは2024年4月に4kg/10a播種（散播）した。
- (2) 春播きの収穫は秋播きよりも約1か月遅かった(表1)。
- (3) 総乾物収量は春播きは523kg/10a、秋播きは1,440kg/10aとなり、春播きは秋播きに比べ収量が大きく下回った(図1)。
- (4) 春播きでは雑草が繁茂し、1番草では4割、3番草では9割以上を占めた(表2、図2)。

2 期待される効果

- (1) 牧草を春播き栽培した際の収穫量及び収穫牧草内の雑草程度に係る参考資料とすることで、作業の分散や効率的生産を推進することが期待される。

3 活用上の留意点

- (1) 春播きイタリアンライグラスの基肥量は、秋播きの基肥量と早春追肥量の合計量とし、播種時に施用した。

II 具体的データ等

表1 イタリアンライグラスの収穫日

| | 春播き | 秋播き |
|-----|-------|-------|
| 1番草 | 6月6日 | 5月9日 |
| 2番草 | 7月16日 | 6月17日 |
| 3番草 | 8月21日 | 7月29日 |

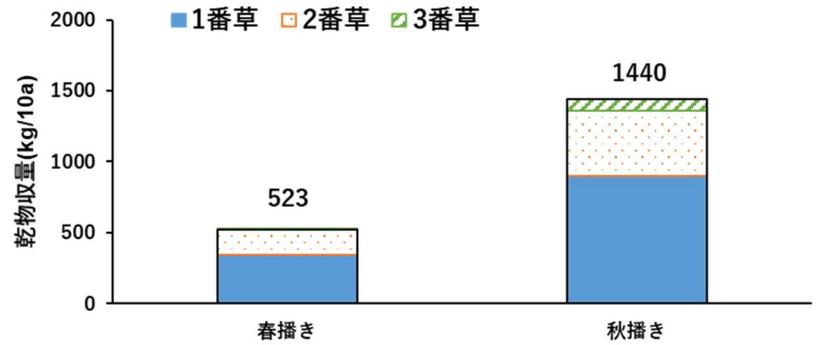


図1 春播き及び秋播きイタリアンライグラスの収量

表2 雑草程度(%)

| | 春播き | 秋播き |
|-----|------|------|
| 1番草 | 41.0 | 0.0 |
| 2番草 | 22.2 | 0.5 |
| 3番草 | 99.2 | 35.6 |
| 全体 | 41.3 | 1.9 |

注) 雑草程度 = 雑草収量/全体収量



図2 春播きイタリアンライグラス2番草における雑草繁茂状況

III その他

- 1 執筆者 松田祐輝
- 2 実施期間 令和6年度
- 3 主な参考文献・資料

(1) 柳田ら, 浜通り平坦地における牧草の春期播種時の留意点, 平成30年度営農再開実証技術情報.